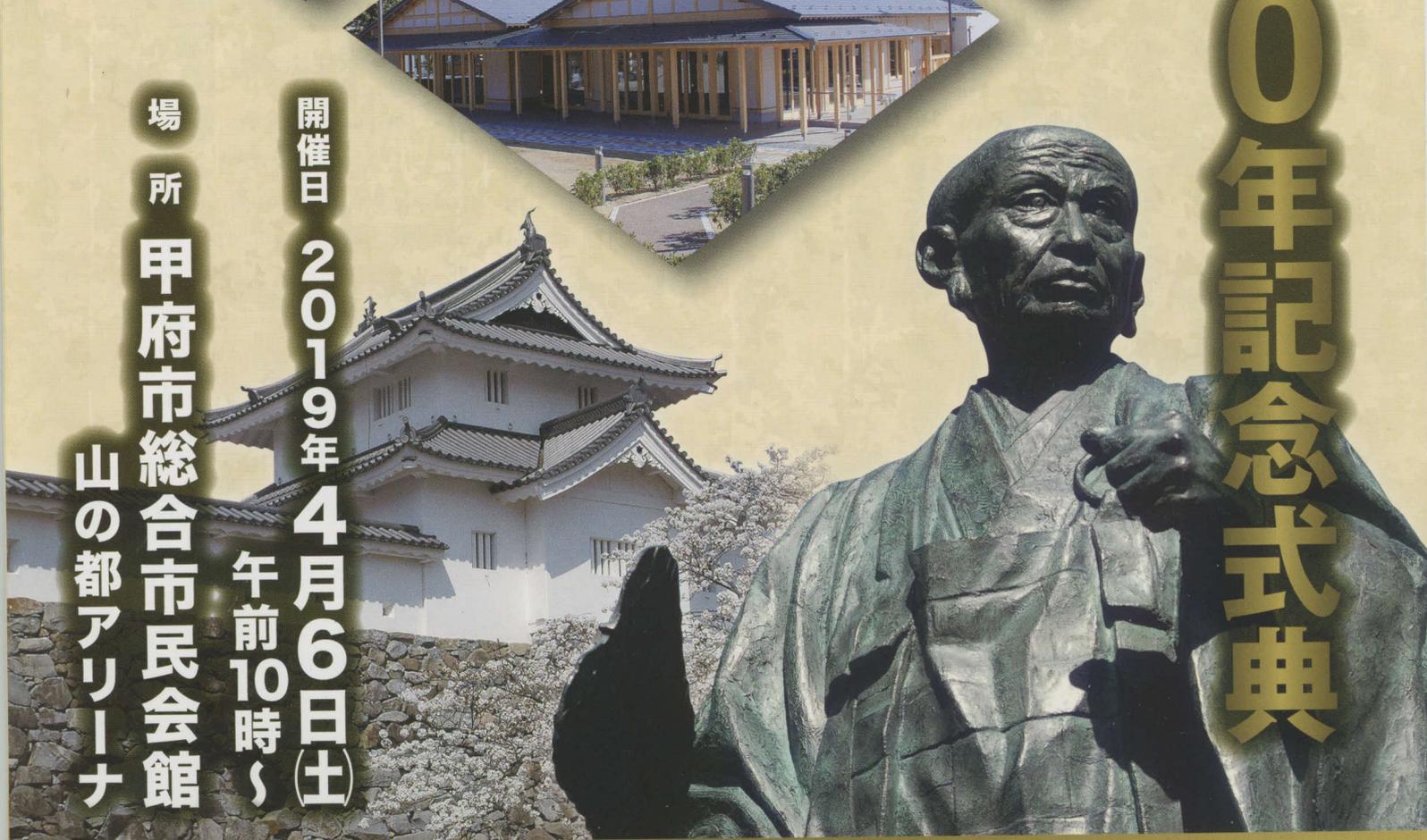


つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府500年

こうふ開府500年記念式典



こうふ開府500年
1519-2019



開催日 2019年4月6日(土)

午前10時〜

場所 甲府市総合市民会館

山の都アリーナ



こうふ開府500年
1519-2019

甲 府 市

開府500年 イベントスケジュール

- | | |
|--------------|---|
| 3月16日~5月13日 | 県都甲府の500年展 |
| 4月5日~ | 武田氏館跡歴史館オープン |
| 4月6日 | こうふ開府500年記念式典 |
| 4月6日~7日 | 四季の賑わい創出事業(春)信玄公祭り/ KAIFUマルシェ 2019 |
| 4月12日 | 武田二十四将騎馬行列 |
| 6月29日~30日 | 第14回食育推進全国大会 |
| 8月4日 | スペシャルフォーラム(戦国武将フォーラム) |
| 8月10日~11日 | 第4回「山の日」記念全国大会
四季の賑わい創出事業(夏)/小江戸甲府の夏祭り |
| 10月中旬~ | 四季の賑わい創出事業(秋)/甲府大好きまつり・農林業まつり |
| 11月下旬 | 「将棋の日」in甲府 |
| 12月1日 | リレーフォーラム2019 |
| 12月12日 | こうふ開府500年記念文化公演事業 |
| 12月21日 | NEXT100宣言イベント |
| 12月20日~22日 | 四季の賑わい創出事業(冬) |
| 2020年3月31日まで | 常設展示メモリアルギャラリー |

プログラム

第一部

◆ 開式

◆ 式辞

◆ 来賓紹介・来賓祝辞

◆ 姉妹都市等紹介

第二部

◆ ビデオメッセージ

◆ 甲府ラーニング・スピーチ

◆ 記念パフォーマンス

甲府商業ソングリーダー部

甲府南中学校合唱

◆ 甲府市の歌

◆ 閉式

甲府市の歌

作詞 輿石保之

作曲 甲府市の歌審査委員会

1 さわやかに 山なみあけて

日に映える 甲府盆地よ

朝朝に 富士をあおげば

胸はもえ 力みなぎる

甲府市は 希望よぶ町 希望よぶ町

2 武田菱 かがやく歴史

しのびつつ はげむあけくれ

町町に 光あふれて

咲きかおる 文化ゆたかに

甲府市は 夢をよぶ町 夢をよぶ町

3 虹わたる ぶどうの丘に

ほのぼのと かすむ湯煙

窓窓に 笑顔あかるく

もりあがる 県都われらの

甲府市は 明日をよぶ町 明日を呼ぶ町

甲府500年の歩み

中世の甲斐の国の政治的・経済的な中心地は現在の甲府盆地東部一帯であり、守護の武田氏は信昌・信繩・信虎の三代にわたり石和に近接した川田(甲府市川田町)に館を構えて領国経営を行っていた。

群雄割拠の戦国時代に名将として全国に名を馳せた武田信玄の父である武田信虎は、永正16(1519)年に躑躅が崎(現武田神社)の地へ居館を移し、家臣をその周辺に集住させるとともに、商職人町の設定や寺社の創建、市場の開設などを進め、大規模な城下町の整備に着

手しました。これにより甲斐の府中「甲府」が誕生しました。

江戸時代になると、柳沢吉保によって甲府城と城下町の再整備が積極的に進められました。当時、甲府城下町を訪れた荻生徂徠が「人家は繁盛し、市街がよく整って商店に多くの品物が並び、人々の姿ふるまいもほとんど江戸と異なるところがない」と記すほど、甲府城下町は江戸時代を通じて繁栄していました。

そして開府500年を迎え、私たちはこれまで先人たちの知恵と、絶え間ない努力により、脈々と受け継がれてきた甲府の「歴史・伝統・文化・自然」を改めて振り返り、輝かしい未来に向け歩んでいきます。



躑躅が崎館跡(現・武田神社)写真

甲府の歴史

- ▶ 1519年 武田信虎が相川扇状地の躑躅ヶ崎に新館を造営し、家臣や商・職人の集住を図って城下町甲府を開く。
- ▶ 1521年 武田信虎の嫡男・勝千代(のちの信玄)が積翠寺で誕生。
- ▶ 1541年 武田信虎を駿河に退隠させ、信玄が家督を継ぎ、甲斐国主となる。
- ▶ 1558年 武田信玄が信濃(長野県)の善光寺から本尊を移し、甲府善光寺を創建する。
- ▶ 1573年 武田信玄が信州(長野県)駒場で死去。
- ▶ 1575年 武田勝頼、三河の長篠で織田・徳川連合軍と戦い、壊滅的打撃を受ける。
- ▶ 1582年 織田・徳川連合軍が甲斐に侵攻し、武田勝頼が甲州市大和町田野で自害。武田家が滅亡する。
- ▶ 1704年 柳沢吉保が、甲府城主となり城下町の再整備に着手。
- ▶ 1889年 甲府に市制が施行される。
- ▶ 1903年 中央線甲府～八王子間開通。
- ▶ 1982年 中央自動車道全線開通。
- ▶ 2019年 こうふ開府500年。